

令和7事業年度

決算報告書

第22期事業年度

自：令和7年 4月 1日

至：令和8年 3月31日

国立大学法人 琉球大学

令和7事業年度 決算報告書

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	11,106	12,022	916	(注1)
施設整備費補助金	1,631	1,674	43	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	841	2,544	1,702	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	-	12	12	(注4)
自己収入	28,965	28,809	△ 156	
授業料、入学金及び検定料収入	4,301	3,071	△ 1,229	(注5)
附属病院収入	23,723	24,465	741	(注6)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	940	1,272	331	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,450	2,636	186	(注8)
引当金取崩	70	68	△ 1	(注9)
長期借入金収入	-	-	-	
貸付回収金	-	-	-	
承継剰余金	-	-	-	
旧法人承継積立金	-	-	-	
目的積立金取崩	564	712	148	(注10)
引当特定資産取崩	-	-	-	
計	45,631	48,481	2,850	
支出				
業務費	39,757	41,591	1,834	
教育研究経費	14,497	14,501	4	(注11)
診療経費	25,259	27,089	1,830	(注12)
施設整備費	1,631	1,686	55	(注13)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	841	1,306	465	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,450	2,534	83	(注15)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	950	941	△ 8	(注16)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
出資金	-	-	-	
計	45,631	48,061	2,429	
収入-支出	-	420	420	

○予算と決算の差異について

- (注1) 予算編成時点では想定していなかった教育・研究基盤維持経費及び退職手当等に係る追加配分があったため、予算額に比して決算額が916百万円多額となっております。
- (注2) 予算編成時点で想定していなかった災害復旧事業及び長寿命化促進事業に係る交付があったため、予算額に対して決算額が43百万円多額となっております。
- (注3) 予算編成時点では想定していなかった補助金等（大学病院機能強化推進事業や医療機関等における賃上げ・物価上昇に対する支援事業費補助金）の交付を受け、予算額に比して決算額が1,702百万円多額となっております。補助金等収入には、授業料等減免費交付金が1,296百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 予算編成時点では決定していなかった営繕事業に係る施設費交付金を受け、予算額に比して決算額が12百万円多額となっております。
- (注5) 高等教育修学支援新制度による授業料等減免支援の実施に伴い、授業料及び入学科免除者の増加等があったことにより、予算額に比して決算額が1,229百万円少額となっております。
- (注6) 予算編成時では想定していなかった高額医薬品の使用のほか、当初の想定以上に稼働が堅調に推移したことにより、予算額に比して決算額が741百万円多額となっております。
- (注7) 予算編成時点では想定していなかった消費税の還付を受け、予算額に比して決算額が331百万円多額となっております。
- (注8) 受託研究費等の受入増により、予算額に比して決算額が186百万円多額となっております。
- (注9) 予算編成時点で想定していたよりも退職者が少なかったため、予算額に比して決算額が1百万円少額となっております。
- (注10) 目的に沿った使用のための取崩しにより、予算額に比して決算額が148百万円多額となっております。
- (注11) 予算編成時点で想定していなかった執行があったため、予算額に比して決算額が4百万円多額となっております。
- (注12) 予算編成段階では計上していなかった人件費の増額（人事院勧告の適用、手当新設、稼働増加に伴う超勤手当の増額）のほか、（注6）で記載したように、稼働に連動して増減する医療材料・医薬品費等の診療業務費が大幅に増額したことから、予算額に比して決算額が1,830百万円多額となっております。
- (注13) （注2）及び（注4）に示した理由により、予算額に比して決算額が55百万円多額となっております。
- (注14) （注3）に示した理由により、予算額に比して決算額が465百万円多額となっております。
- (注15) （注8）に示した理由により、予算額に比して決算額が83百万円多額となっております。
- (注16) 借入額確定に伴う償還額の減及び既往債務の金利見直しにより、予算額に比して決算額が8百万円少額となっております。